

事業所における自己評価結果

公表：令和4年3月

事業所名 江戸川区発達相談支援センター

回答数 18 名

保育所交流や行事への地域住民の招待について、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施を見合わせておりますので、評価項目から除いています。

評価項目		はい	いいえ	
環境・体制整備	1	<p><設問>利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集団活動のプログラムを設けることで、部屋数に対して利用定員が適切となるように工夫している。 ・ 人数に合わせて大小の部屋を調整し使用している。 ・ 個別・集団共に適切な広さが確保されていると感じる。特に個別では隣室としっかり区別されていて良い。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 状況に合わせて指導部屋を効果的に用いるような、環境設定を続けていきます。 	89%	11%
	2	<p><設問>職員の配置数は適切であるか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の配置数に追加して必要な時にフリーの職員が入るなど工夫がされている。 ・ 職員が欠勤等で人数が足りない場合は、他の部署からの応援があり、助け合いが出来ている。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童福祉法で定める基準の人数を配置していますが、各プログラムに応じてバランスよく配置していくなどの工夫をしています。 	72%	28%
	3	<p><設問>生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの特性に応じて集中しやすいように衝立を使ったり、注意が逸れないように余計な物を撤去したりするなどの環境上の配慮を行っています。 ・ 療育室以外のトイレや玄関など目的がわかりやすく余計なものがない整った環境である。 ・ 空き教室の活用、空間をしきるなどして発達段階に応じて対応している。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちの特性に合わせて、環境整備を行っていきます。 	78%	22%
	4	<p><設問>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の職員の清掃や備品の整頓などで心地よい環境づくりが意識されている。 ・ 職員同士声掛けをして清掃、消毒を心掛けている。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが気持ちよく楽しく過ごせるように、現状できうる範囲で環境を整えていきます。 	89%	11%

評価項目		はい	いいえ	
業務改善	5	<p><設問>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援に関しては日々ふりかえりを行い、次回の改善点を明確にし、PDCAを回しています。 ・ケースの共有ができています ・毎日業務後にチーム毎に分かれて振り返り時間が設けられている。 ・通園での外遊びに子どもが遊べるような遊具が設置されていると活動の幅が広がっていると思う <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎度の支援を振り返りの時間で、できたこと、難しかったこと、次回へ生かすことなどをまとめるようにしています。 	89%	11%
	6	<p><設問>保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・結果については職員に周知を行い、今後の工夫につなげています。 ・改善点があれば周知される。 ・期の最後に保護者アンケートを実施し、ニーズや意見の把握に努めている。 ・結果をミーティングで話し合っている <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本評価表も含め、定期的にアンケートを実施し、提供サービスの向上に努めております。 	94%	6%
	7	<p><設問>事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を踏まえて、改善点などをホームページに公開しております。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表をHPに公表し、いただいた意見に応じて改善を図ります。 	89%	11%
	8	<p><設問>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部評価を今年度実施中、結果を踏まえて職員の業務改善につなげていく予定です。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度第三評価を実施いたしました、評価結果をもとに業務改善を図ります。 	88%	12%
	9	<p><設問>職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一定の間隔で職員のスキル研修を実施している。その他センターで委員会を設置し、虐待やファーストエイドの研修を行っている。 ・施設内研修、外部研修が盛んに行われている。非常勤も参加可能である ・研修はセンター内で講習会、勉強会が毎月一回以上開かれ、外部の研修の案内が回覧されている <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な職員研修を行い、スキルアップや虐待防止や個人上情報の取り扱いについても周知し、対応の徹底を図っています。 	94%	6%

評価項目		はい	いいえ
10	<設問>アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	94%	6%
	<工夫している点>		
	<ul style="list-style-type: none"> 発達検査や各質問紙を用いたアセスメントを全利用者を実施、その他行動の観察から子ども状況に合わせた課題更新をオーダーメイドで行っています。 対象児および保護者への検査などによるアセスメントを行い、支援に繋げている。 モニタリングなどニーズを知る場が多く用意されていると感じる。 子どもの課題を保護者と共有できるようになっている 		
11	<設問>子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	<ul style="list-style-type: none"> 新版K式発達検査2020をはじめ、各種ツールを用いて子どもはもちろん、保護者の状況についてもアセスメントを行っています。 各項目に分かれた表を活用することができ、適応行動の状況を把握することができます。 		
12	<設問>児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	89%	11%
	<工夫している点>		
	<ul style="list-style-type: none"> 主に子どものスキルと家族のスキルに焦点を当て、設定したターゲット行動が獲得できるようにプログラムを進めています。 園との連携などは行っているが、地域支援については、手探りの状態が続いている。 センターでの支援だけでなくご家庭でもできる支援を体験したりお話させていただき、必要に応じて通園、通学先を訪問して支援についてお話している 		
13	<設問>児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	94%	6%
	<工夫している点>		
	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の中での支援方法は共通理解がなされているため、ゴールの共有もしやすい。 児童発達支援計画に沿いながら、その子に合った形となるように、短いスパンで更新がなされている。 複数の職員の意見を聞き、見直しをしている 		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
	<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、保護者だけでなく、職員とも計画にそった課題更新ができるように共有を続けていきます。 		

評価項目		はい	いいえ	
適切な支援の提供	14	<p><設問>活動プログラムの立案をチームで行っているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援のふりかえりをチームで行っているため、困難に関してはチームで意見を出し合って支援を前に進めています。また定期的にスーパーバイザーが支援に入り、子どものプログラムの進め方と支援者のスキルについてフィードバックを行っています。 ・集団クラス毎に担当職員で立案と、実施後の振り返りを行っている ・定期的にケースシェア会議が行われている <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別指導・集団指導の担当者はスーパーバイザーと共にターゲットを決定し、それに応じて主に担当者間で活動プログラムを立案しています。 	94%	6%
	15	<p><設問>活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画にはプログラム内容が反映されています。 ・集団プログラムのニーズがあるケースについて、利用者側の都合や、利用定員数による兼ね合いなどから、支援が提供できていないケースがある。 ・通園のプログラムの中でも時間を区切って個別支援の時間を適宜設けている。 ・発達段階を踏まえ、スモールステップで支援できるように同じ狙いでも目先を変えたりゲーム性を重視したりして興味を持てるよう工夫している <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団指導では練習するターゲットをベースに活動を考え、同じ活動を続けることで少しずつ学習を進める場合もありますが、子どもたちが楽しく参加できるように活動は固定しないように心掛けています。 	100%	0%
	16	<p><設問>子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画にはプログラム内容が反映されています。 ・親御さんの要望も踏まえ、必要な支援を随時ご提案している。 ・通園のプログラムの中でも時間を区切って個別支援の時間を適宜設けている。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き支援開始前に支援の進捗状況や役割分担についての担当者間で共有し、よりよい支援に繋がるように努めます。 	83%	17%
	17	<p><設問>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで行っている集団支援については、事前にミーティングを開いて内容の共有を行っている。 ・集団活動においては、必ず打ち合わせがなされているが、個別プログラムにおける打ち合わせは、必要に応じて行われている形となっている。 <p>slackを活用して報告、アイデアを出し合い、分担を決めている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団支援については、職員間で事前に打ち合わせを行い、実施内容や役割分担を明確にした上で支援提供を行っています。 	89%	11%

評価項目		はい	いいえ
18	<設問>支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	94%	6%
	<工夫している点> ・限られた時間ではあるが、毎日振り返りを行う体制をとり、次回への改善へ繋げている		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・毎度の支援を振り返りの時間で、できたこと、難しかったこと、次回へ生かすことなどをまとめるようにしています。時間がない場合は翌日以降に実施することもあります。		
19	<設問>日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	94%	6%
	<工夫している点> ・記録をとることを事業所の中で徹底し、それを見ながらスーパーバイザーがフィードバックを行っています。 ・記録用紙は、必ず作成・保存しており、保護者にもコピーをお渡ししている。使用プログラム（AI・PAC）への記録と振り返りシートに記録し、改善に繋げている 特に大切なことは分析をして表にして、支援の流れや工夫したことを検討している		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・当日の支援の記録については、記録用紙に記入しております。また家庭支援に関しては、支援を補助するシステム（AI-PAC）上に記録を残してもらい、実施状況をセンターと共有できる形をとっております。		
20	<設問>定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%
	<工夫している点> 実質的に、毎週ないし隔週で課題の更新が行われている。 定期的なモニタリングにより、最新のニーズを支援計画に反映している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		
21	<設問>障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	83%	17%
	<工夫している点> 児童発達支援管理責任者や担当者など、状況に合わせて担当者が会議に参加をしている。担当者のみでなく、普段の支援にも他職員が関与している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・会議には可能な限り関わる職員が集まり、お子さんの状況などを共有し、次のよりよい支援につなげられるように努めます。		
22	<設問>母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	72%	28%
	<工夫している点> 状況に応じて、園の先生、他事業所の先生などと連絡を取りながら、支援内容を共有している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・保護者の同意をとった上で、通所園やその他関係機関との連携を図ります。また、状況に応じ、他機関同士の支援の足並みを揃えるために会議を行っております。		

評価項目		はい	いいえ	
関係機関や保護者との連携	23			
	<設問> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			
	<工夫している点>			
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・医療的ケアが必要な子ども対象とした施設ではないため未回答。			
	24			
<設問> (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
<工夫している点>				
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・医療的ケアが必要な子ども対象とした施設ではないため未回答。				
25	<設問>移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	94%	6%	
<工夫している点> ・他の地域へ引っ越し際には、その地域の支援機関向けに情報提供書を作成し、情報共有を図っている。 ・保護者の同意の下、保育所幼稚園等と情報共有を行い、必要であれば双方で見学を行っている				
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・就学時には、希望家庭を対象に進学先へ出向き、口頭で引継ぎを行っています。				
26	<設問>移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100%	0%	
<工夫している点> ・就学の際には情報提供書を作成したうえで、担当者と管理者が学校を訪問し対面で情報共有を行っている。 ・就学情報共有シートを作成し、保護者からの希望があった際には、小学校との情報共有を行っている。				
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>				
27	<設問>他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	83%	17%	
<工夫している点> 併用利用のケースに関しては、地域の他事業所と連絡をとりながら支援を進めている。他事業所の見学や、専門機関の職員から助言を受けている。				
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・必要に応じて他事業所との連携を行い、お子さんの情報共有を図っています。				

評価項目		はい	いいえ
28	<設問> 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	22%	78%
	<工夫している点>		
	・受け入れ施設を探しているが、社会的な状況もあり見つかっていない。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
・コロナウイルスの影響もあり、実施できていない状況だが、今後の実施に向けて案を出していきたいと思います。			
29	<設問> (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか	44%	56%
	<工夫している点>		
	・センターとして参加を行っている。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
・今後も関係機関との会議へ積極的に参加し、地域の活性化を図っていきます。			
30	<設問> 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	・当センターの実施プログラムが、保護者も療育参加を行うものなので利用者全員と担当者は共通理解をもってプログラムに参加している。また、それをサポートするツールとして「AI-PAC」という社内システムがあり、視覚的に子ども状況などが把握しやすくなるほか、支援方法、支援教材などがスムーズに共有されている。支援への付添い保護者から日々の様子を聞き、困りごとなどを一緒に解決に向け意見を出し合っている。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
・個別のプログラム毎に保護者との共有の時間を持っています。また、AI-PACのプログラムを通して、通所していない状況でも子どもの様子を共有できる体制を整えています。			
31	<設問> 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	100%	0%
	<工夫している点>		
	・当センターの実施プログラムが、保護者に対してのペアレントトレーニングを行うものなので利用する保護者が子どもの支援スキルを身に付けられるものとなっている。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
・利用するご家庭にはまず「べあすく」という家族で学ぶ療育プログラムを受講してもらい、お子さんだけが学ぶのではなく、保護者の方にもお子さんへの関わり方を伝えています。			
32	<設問> 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89%	11%
	<工夫している点>		
	・契約時には、ひとりひとり必ず時間をとって保護者全員に説明を行うようにしています。		
<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>			
・保護者の方には契約時に個別で説明を行っています。			

評価項目		はい	いいえ
保護者への説明責任等	<p>33 <設問> 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に保護者と担当者が支援の方向性を共有していると同時に、支援内容は必ず担当者が保護者に説明をした上で実施を行っている。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	<p>34 <設問> 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題に関しては聞き取りの後、分析を行い解決策をスモールステップで実施を行っている。また、医療的な相談については、センター内で来てもらっているドクターにつなげるなどのサポートも行っている。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p>	100%	0%
	<p>35 <設問> 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> <p><工夫している点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者会ではないが、座談会などを定期的に開催して保護者同士の情報共有の機会を作っている。 ・ 毎日通園クラスは保育参観、懇談会を実施。 ・ 先輩ママ公演や毎月の研修会など積極的に取り組んでいる。 <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <p>今後も社会の状況を見ながら、保護者会などを開催していく予定です。</p>	83%	17%
	<p>36 <設問> 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>状況に応じて担当者や管理者が対応し、個別の面談を行うなどの対応を行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 急な相談については、管理者、児童発達支援管理責任者が対応できるように体制を整えております。 	94%	6%
	<p>37 <設問> 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p> <p><工夫している点></p> <p>毎日通園のクラスでは、定期的なお知らせを発行し、参観日や活動の準備物などの共有を行っている。 会報等の発行は、行われていないが、常に活動概要や、お子さんの様子などのフィードバックを行っている。</p> <p><課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援システム(AI-PAC)を用いて、センターの催しの告知をしています。 	72%	28%

評価項目		はい	いいえ
38	<設問>個人情報の取扱いに十分注意しているか	94%	6%
	<工夫している点> 個人情報の管理委員会を設置し、職員間の個人情報の扱いについての理解を深めている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・個人情報管理委員会を設置し、個人情報保護法や区の個人情報保護条例等の法令に基づき、取り扱いの徹底に努めています。 ・個人情報が含まれる書類等は、基本的に事務所内のキャビネットに施錠保管しております。		
39	<設問>障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	94%	6%
	<工夫している点> ・アセスメント結果のフィードバックや、課題や活動への取り組むの様子など、基本的にポジティブな形でお伝えするように常に心掛けている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・基本的には子どもの意思を尊重した支援を行っています。必ず担当者が支援の際に保護者との意思疎通を図るとともに、社内システム「AI-PAC」用いて情報の共有がスムーズに行えるように体制整備をしています。		
40	<設問>事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	78%	22%
	<工夫している点> ・センターでは毎年秋祭りを実施しており、地域の方が参加、交流できる枠組みを整備しています。今年度まではオンラインでの実施にとどまりましたが、今後は現地で開催ができるようであれば、より地域密着型のイベント開催ができると考えています。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・イベント等を通して、地域の方との交流や、活動内容の周知を図っております。		
41	<設問>緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	94%	6%
	<工夫している点> ・対応のマニュアルについては、待合室に設置して、保護者が閲覧できるような整備を行っています。 ・利用者を交えた避難訓練を行っている他、安全管理委員会を設置し、周知を行っている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・年に数回緊急時を想定した避難訓練を実施しています。また、緊急時の対応の周知については、今後一層の共有が図れるように努めます。		
非常時等の対応 42	<設問>非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%
	<工夫している点> ・子どもだけでなく、保護者の方も参加する避難訓練を定期的実施しています。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標>		

評価項目		はい	いいえ
43	<設問>事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	89%	11%
	<工夫している点> 契約時に「安心シート」に記入をしてもらい、持病や服薬の状況、かかりつけの病院の情報を集約し、担当者が確認した状況で支援を行っています。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・安心シートを用い、利用者の情報を職員間で共有できるように図ります。		
44	<設問>食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	94%	6%
	<工夫している点> アレルギー物質がある場合は、保護者に細かなシートを記入してもらったうえで支援を行っている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・支援の開始時にアレルギーについての聞き取りを行い、該当のアレルゲンに触れない配慮を行っております。		
45	<設問>ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	17%
	<工夫している点> ・ヒヤリハットを収集し、定期的に共有している。またオンライン上で取りまとめる枠組みを整備している。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・ヒヤリハットの事例がより挙がってくるよう、職員への声かけや、記入方法の改善などを行います。		
46	<設問>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%
	<工夫している点> ・職員の虐待防止の研修を実施している。 ・定期的なケースシェアリング会を実施。研修を行い未然に気付けるようにしている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・年度ごとに虐待防止委員会が、虐待防止・発見の研修を行うようにしています。		
47	<設問>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	67%	33%
	<工夫している点> ・契約書に記載あり。生命に関わる事体を除き、基本的に身体拘束は行わないと契約時に説明を行っている。		
	<課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標> ・組織内の虐待研修の中で、生命に関わる状況や怪我につながる行動などやむを得ない場合以外は身体拘束を行わないことを共有し、周知をおこなっています。		